

Dr. マティアス・バルトケ

ドイツ連邦議会議員

ドイツ社会民主党 (SPD)



1959年1月16日 ブレーメン市に生まれる。

既婚、一子あり。

1978年 ブレーメン市にて大学入学資格（アビトゥア）取得。

1983年 フリードリヒ・エーベルト財団の奨学生に。

1979-80年 ローテンブルク（ヴェンメ）にて基礎兵役に就く。

1987年 ハンブルク大学にて一段階式法曹養成課程を修了。1991年 ハンブルク平和安全保障政策研究所にて法学博士学位取得。

1987年 ハンブルク市アルトナ区にて弁護士業に従事。1987年 ハンブルク平和安全保障政策研究所にて研究職員ならびに広報担当者を務める。

1991年 自由ハンザ都市ハンブルクの社会福祉局に入る。同市において2013年まで障害者政策ならびに労働市場政策分野の様々な部署の管理職を歴任した後、法務部長を務める。

サービス産業労働組合ヴェル・ディ組合員、労働者福祉協会会員、公益法人エーフェルゲンネ博物館港会員。2016年よりハンブルク・レーベンスヒルフェ（知的障害親の会）会長。

1978年ミュンヘンにて社会民主党南バイエルン支部に入党。1981年ハンブルク大学内の社会民主党青年・大学組織代表、1986年ハンブルク市アルトナ区議会議員、1989年社会民主党アルトナ北地区代表、1996年社会民主党アルトナ支部役員、2004年同支部・副支部長、2009年社会民主党ハンブルク州支部役員に就任。2010年社会民主党内に障害者のための自発的活動支援ワーキンググループ「ゼルプスト・アクティーフ」を創設、代表に就任。2018年より社会民主党ハンブルク州支部副支部長を務める。2013年より連邦議会議員（2013年、2017年直接選出議員）。

連邦議会での所属ならびに役職

- 2013年より連邦議会議員（2013年、2017年直接選出議員）
- 2016-2018年 社会民主党院内会派法務顧問
- 2018年より労働福祉委員会委員長

常任委員

- 労働福祉委員会
- 選挙調査・不逮捕特権・議事規則委員会